

# 一般質問通告書

令和6年8月26日

前

午後  
14時36分 受付

後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和6年8月26日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員

福永桂子

(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主題
1	多文化共生のさらなる発展のために
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主　　題
1	多文化共生のさらなる発展のために
質　問　の　要　旨	
(質問しようとする背景や経緯)	
<p>2024年1月26日の厚生労働省発表によると、2023年10月末時点の外国人労働者数は前年比12.4%増の204万8675人と、届出が義務化された平成19年以降、最高を更新し、過去10年では約3倍に増えています。この増加は、日本が直面している労働力不足や少子高齢化に対応するために、国が移民政策を緩和して、外国人労働者を積極的に受け入れる方針を打ち出していることが大きな要因と言われています。特に製造業や建設業、介護分野での人手不足が挙げられます。</p> <p>移民が増加することで発生する課題には、多様な文化の違いなどを起因とする文化的な統合の問題や公共サービスへの負担、社会的な一体感の低下などが考えられます。これらの問題に対処し、外国人市民と日本人市民が互いに歩み寄り、協力することができる多文化共生のまちづくりが可能となれば、より調和の取れた社会の実現を目指すことができます。それには、地域社会と連携した多文化共生の推進、言語や文化に関する支援プログラムの充実、移民を受け入れる側の社会基盤の整備などが重要です。</p>	
<p>湖西市でも同様に外国人市民は増加傾向です。令和6年4月1日現在外国人人口は4,226人で、湖西市の人口の約7%を占めています。永住者や定住者も増加傾向で、国籍や使用言語も多様化しています。</p> <p>湖西市の企業の多くが外国人労働者を長年受け入れてきました。多世代に渡って本市に住み続け活躍する外国人市民も多くなりました。また、ICTの活用による情報提供、感染症の拡大、前例のない自然災害の発生など、生活者として暮らし続けるための日本語教育の推進がさらに重要なっています。これらの、社会情勢の変化を踏まえて、外国人との共生について、湖西市も改めて考えていく段階に突入していると言えるでしょう。</p>	
(質問の目的)	
この背景や経緯を踏まえて次期「第4次湖西市多文化共生推進プラン」	

は、しっかりととした根拠と市民の支持を得た内容であることが重要です。そこで、新たな提案を含め、プラン改正に向けた市の認識と具体的なアクションを確認し、共に多文化共生のさらなる発展を目指します。

(質問事項)

1. 上位 5 地区別外国人人口および比率、上位 3 在留資格の過去 5 年間の推移、外国人児童生徒の過去 5 年間の推移、現在と 10 年前と比較したブラジル人市民の年齢層別人口および比率を伺います。また、現時点で、市が注目している外国人市民の現状と課題や成功点についてもお伺いします。
2. 湖西市多文化共生推進プランの改正に向けての準備が必要ですが、具体的なアクションとしてのステップを踏まえて、どの様に進めて行かれるのかを伺います。
3. 磐田市は、オンライン学習や日本語指導ボランティアの育成、関係機関との連携を通じて、より柔軟で専門的な日本語学習支援を提供し、外国人市民の多様なニーズに対応できる体制を整えています。それについて市の見解を伺います。
4. 日本語学習機会の充実について、教育委員会や教育機関との連携についてのお考えを伺います。
5. 外国人市民が自分の日本語能力を適切に理解し、ニーズや目的に見合う学習機会を得られるように「日本語能力判定」を取り入れてみてはどうでしょうか。
6. 多文化共生を推進するための施策として、外国人市民の高齢化社会への備えの取り組みについて、どのようにお考えかを伺います。
7. 共生社会の発展に向けて、湖西市の多文化共生推進プランが市民の支持を得ることが求められています。そのための市の方策と気概を伺います。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一般質問通告書

令和6年8月27日

午前  
9時40分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和6年8月27日



湖西市議會議長 馬場 衛 様

湖西市議會議員 三上 元 印

質問方式 (○を付ける)	一問一答	一括の質問答弁
番号	主題	
1	海外留学への支援について	
2	ストローなしの学校給食について	
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主　　題
1	海外留学への支援について
質　問　の　要　旨	
(質問しようとする背景や経緯)	
1. この 20 年間の留学生の推移を見ると、日本への留学生は増加しているが、日本からの留学生はさほど増えていない。	
2. この 7~8 年間を見ると、コロナで落ち込み、その後の回復がにぶい。特に滞在期間 1 年以上の日本からの留学生は 2016 年の 2,456 人をピークに 2022 年度は 1,917 人と回復が特に遅れている。	
3. そんな今年、5,000 円札に津田梅子が登場した。この少女達の留学を提言した人物は初代文部大臣の森有礼だった。	
4. 佐吉翁の有名な言葉に、「外は広いぞ」がある。発言した時は、海外への工場進出の事だが、今は「日本の学生達よ、海外留学をしてくれ」と聞こえてくる。	
(質問の目的)	
私は、日本の教育は二つの柱が必要と考える。第一は国民全体の知育、德育、体育のレベルを上げること。第二は 1,000 人に 1 人の日本のリーダーを育てることだと思う。	
湖西市の学生へ海外留学を支援し、広い世界を実感していただき未来を担うリーダーを湖西市から輩出したいと考えるが、その点での教育長の考え方を知りたい。	
(質問事項)	
1. 2022 年度の日本からの留学生は 58,162 人でコロナ前の水準に達しておらず、その数の中には 1 ヶ月未満の学生まで含めている。	
留学といえば 1 年以上でありたいと思っている。この点をどう思っているのかを問う。	

2. 1 年の留学に必要な金額は、行く国で差はあるが、一つの例として、親が 200 万円を用意し、本人はアルバイトしながら勉強しているカナダへの留学生を知っている。

1 年に 1 人、200 万円なら湖西市でも、市長と教育長が合意すれば出せる金額である。

湖西市には、豊田佐吉翁の名前をつけた奨学金が存在している。経済的な理由で進学が難しい方に、学費を支援する制度である。

もう一つの柱として、日本の 1000 人に 1 人のリーダーを育てる留学支援制度を新設する考えの有無を問う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主　　題
2	ストローなしの学校給食について

### 質　問　の　要　旨

(質問しようとする背景や経緯)

1. 政治や教育は、30年先や100年先を考えなければならない。地球環境を守る運動もそうである。
2. プロのダイバーからの声が本になっている。本の中で、「パラオのペリリュー島の砂浜がプラスチックゴミだらけ」と伝えている。
3. 今年6月18日の埼玉新聞は、所沢市の小学校32校で牛乳をストローレスパックに変更したことを伝えている。

(質問の目的)

湖西市でも、地球環境を守る活動の一つとして、先行例を参考にして、ストローを使わない給食を検討して欲しいので、教育長の考えを聞きたい。

(質問事項)

1. 学校給食の牛乳パックにストローが湖西市の学校でも付いている。所沢市以外にも、ストローなしの牛乳に変更している所があると思うが、湖西市もその先例を参考にして欲しいのだが、教育長の考えを知りたい。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一般質問通告書

令和6年8月27日

前

午0時58分受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和6年8月27日



湖西市議會議長 馬場 衛 様

湖西市議會議員 寺田悟  
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主題
1	第11次湖西市交通安全計画の進捗状況について
2	市職員による不詳事案の防止について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主　　題
1	第11次湖西市交通安全計画の進捗状況について
質　問　の　要　旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>昨年10月26日、浜松市南区若林町内の歩道の無い道路で、下校中の小学生3名が軽乗用車にはねられる交通事故が発生し、1名は意識不明の重体、2名が重傷を負いました。</p> <p>今年5月13日浜松市浜名区内で小学4年生の女子児童が横断歩道を横断中にゴミ収集車に轢かれ死亡する交通事故が発生しています。</p> <p>この他にも毎年全国で多くの児童が交通事故被害に遭って重軽傷を負い、又幼い命が奪われています。</p> <p>湖西市では、昨年11月に新居町中之郷地内の市道で大型トラックと自転車の事故により自転車を運転していた高齢者が重体。同年10月鷲津地内の市道で高齢の歩行者が軽四乗用車にはねられて死亡。同年8月白須賀町内国道1号線バイパス下の側道で大型バイクがガードレールに衝突する単独事故で男性が死亡する等の交通事故がありました。</p> <p>湖西市においては、交通安全対策基本法の規定により県が作成した交通安全対策基本計画に基づき、令和3年度から令和7年度までの5年間に講すべき交通安全に関する施策の大綱「第11次湖西市交通安全計画」が作られ、計画期間中の年間死者数1名以下、年間人身事故発生件数230件以下を目標に人命尊重の理念の下、将来的に交通事故の無い社会を目指して各種の交通事故抑止施策に取り組んでいるところです。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>本計画の進捗状況を把握すると共に人優先の交通安全環境整備が実施されているか確認するため。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1 令和3年以降の交通事故発生状況及び交通事故抑止目標の達成状況。      2 市民及び市内企業等車両通勤者に対する交通安全啓発活動を伺う。      3 交通危険個所に対する安全対策の方針と実施予定を伺う。      4 小中学生通学路の歩道未整備区間における交通安全対策と課題。      5 抜け道利用抑制など生活道路における交通安全対策と課題。 以上</p>	

番号	主　　題
2	市職員による不詳事案の防止について
質　問　の　要　旨	
(質問の背景や経緯)	
<p>本年 6 月に開催された静岡県消防救助技術大会「陸上の部」において、湖西市消防が「障害突破」で団体優勝し、7 月千葉県で開催された関東大会に出場。</p> <p>また、7 月に開催された静岡県消防操法大会において「ポンプ車操法の部」で湖西市消防団が初優勝。10 月 12 日宮城県で開催される全国消防操法大会へ出場決定。</p> <p>等と嬉しいニュースが続いた中、8 月 2 日の新聞報道で「免許改ざん消防車運転」というショッキングな見出いで、湖西市の 24 歳男性消防士が書類送検されたと報じられていました。</p> <p>無免許運転という道路交通法違反のみならず、自分の運転免許証を改ざんしてコピーを取り上司に提出していたという有印公文書変造・同行使罪でも送検されたという信じられない不祥事です。</p> <p>過去に遡れば、2015 年男性職員による横領事件、2017 年男性職員による贈収賄事件等がありました。</p>	
(質問の目的)	
<p>市職員による不詳事案の再発防止及び市民に対する信頼回復を目的とする。</p>	
(質問事項)	
1	令和元年度以降における湖西市職員服務規則第 18 条「事故等の報告」に該当する報告件数と概要、湖西市職員倫理規定違反に該当する違反件数と概要及びその他の不適切事案の件数と概要。
2	不詳事には業務上の不詳事と私行上の不詳事があるが、それぞれどのような未然防止対策を行っているのか。
3	今回の免許証改ざん問題は、消防職員だけでなく全職員にも関係すると考えるが、検証の結果、未然防止出来なかつた理由と今後の再発防止策。
4	市民の信頼を回復するための市の考え方を伺う。
以上	

# 一般質問通告書

2024年 8月 27日

前

午 1 時 47 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

2024年 8月 27日

湖西市議会議長 馬場 衛様



湖西市議会議員 相曾桃子㊞  
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主題
1	妊娠・出産・子育て事業のDXについて
2	平和行政・平和教育について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主　　題
1	妊娠・出産・子育て事業のDXについて
質　問　の　要　旨	
(質問しようとする背景や経緯)	
<p>保護者の利便性向上と、市職員の業務の効率化を目的に、妊娠から出産・子育てまで全ての子育て世帯を切れ目なく支援するために、デジタル化が全国自治体で進んでいる。スマートフォン・パソコン・タブレットからアプリやWeb上を通して、書類申請や申し込みなど市役所へ行かなくても、また開庁時間に関わらず提出できる。</p>	
<p>保育所・認定こども園の入園申込みや、1年に1度提出する現状届、就労証明書など各種書類も湖西市では手書きで提出している。先日担当課へ確認した際、マイナポータルからも申請できることを知った。2017年10月からマイナンバーカードを使って申請内容を送信することができるサービスが開始されている。「マイナポータルは、国が運営するオンラインサービスです。子育てに関する行政手続きがワンストップできたり、行政からお知らせを受け取ったりすることができます。」と湖西市HP上には掲載が確認できるが、掲載ページが子育て・教育とは違い、マイナンバー制度のページとなっている。</p>	
(質問の目的)	
<p>デジタル化やペーパレス化に伴い、子育て関連事業のDX化によって、紙媒体の母子手帳や書類等の紛失時にも記録の復旧が可能とし、プッシュ通知により、適切な時期に健診や予防接種が行えるよう支援するため。</p>	
(質問事項)	
<p>1. 行政手続に係るオンライン利用件数は2021年14,617件(電子申請425件)、2022年44,178件(電子申請8,333件)、2023年75,637件(電子申請9,829件)と増加しているが、そのうち児童手当・児童扶養手当・保育のオンライン申請の利用件数を伺う。</p>	
<p>2. 2017年からマイナポータルを利用してオンライン申請が行えるように</p>	

なっているが、利用者へ十分な周知が行われていないと感じる。湖西市のHPでは、マイナポータルを利用してオンライン申請ができると説明されているページと児童手当・児童扶養手当・保育の申請について掲載されているページがリンクしていない現状がある。また、紙面でのお知らせからも、マイナポータルで申請できることが記載されていない。オンライン手続きを増やすための改善策や普及啓発など市の考えを伺う。

3. 妊娠届や母子手帳、予防接種の予約や問診票、健診の予約、一時預かりの予約等アプリやWeb上で申請・予約などできるシステム導入を提案するが見解を伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主　　題
2	平和行政・平和教育について

### 質　問　の　要　旨

#### (質問しようとする背景や経緯)

戦後 79 年経過し、戦争を知る世代は高齢化、戦争を知らない世代の方が多くなっている。湖西市も、昭和 19 年新居町に浜名海兵団が新設され、厳しい訓練が行われた。昭和 20 年、新居町内にも数多くの流れ弾が飛来し甚大な被害が発生、アサリ中毒事件や東南海地震など戦争の長期化や戦局の悪化で人々を疲弊させていった歴史がある。

平成 11 年 3 月 18 日、湖西市は真の世界平和を希求する市民の総意として、地球上から核兵器が廃絶され、あらゆる紛争がなくなることを願い、「非核平和都市」であることを宣言した。湖西市役所正面玄関前には、非核平和宣言都市のモニュメントが設置されている。

令和 6 年 5 月 21 日に行われた戦没者追悼式で影山市長は「戦争の悲惨さと平和の尊さを風化させず、次世代へ継承することが私たちの使命」と述べている。

#### (質問の目的)

二度と戦争が起きることがないよう、戦争の悲惨さを風化させることなく、平和の尊さについて市民の平和意識の形成を図るため。

#### (質問事項)

1. 非核平和都市宣言から 25 年が経過している。平和行政の取り組みの現状・課題、また新たな事業の計画があるのか伺う。
2. 市内には、戦争に関連した慰霊碑がいくつか存在しているが、市は数、場所、管理状況、管理者の把握はされているのか伺う。また、設置されてから月日が経過し、耐震性や老朽化など安全面で不安があるがこれらの維持管理について市の見解を伺う。
3. 小中学校では人権教育を核とした平和教育を行っていると思うが、実際に戦争を体験した方の話をきく、修学旅行で平和教育学習を盛り込んでいるなど具体的に市の取り組み状況を伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一般質問通告書

R6年8月27日

前

午2時51分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和6年 8月27日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 山口 裕教   
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主題
1	少子高齢化・世帯数減少への対応について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主　　題
1	少子高齢化・人口減少への対応について
質　問　の　要　旨	
(質問しようとする背景や経緯)	
<p>全国的な傾向と同様、湖西市でも少子高齢化の傾向は年々強まっており、令和4年度に実施した調査結果では「子育てしやすいまち」「高齢者にやさしいまち」が上位に位置しています。本市では2005年をピークに人口が減少し、近い将来世帯数も減少に転じると予測されています。また、高齢化率が年々高まってきている中、今後は特に高齢者の日常生活の足を確保するよう、鉄道交通との連携など公共交通の利便性を高めることが必要です。東海道本線の各駅周辺では市街地環境の整備が進められてきましたが、今後は子育て世帯や高齢者世帯などのニーズに対応した質の高い良好な立地により定住と交流を促進し、誰もが安心して快適・便利に暮らし続ける活力ある湖西市を構築して行きたいと考え、質問致します。</p>	
(質問の目的)	
<p>「職住近接」による持続可能な集約・連携型都市の構築をはかり、市外から通勤する方々の転入を促進し、既存集落地を中心とする地域では、「働くまちから働いて暮らすまちへ」地域活力の向上をはかり人口減少対策へと繋げて行きたいためです。</p>	
(質問事項)	
【子ども・子育て関係について】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>行政に望む子育て支援として「湖西市子ども・子育てに関するアンケート」で「保育園・こども園などの保育施設の入園枠の拡大」が40.7%と高い数値結果が出ています。幼児教育課に確認したところ現状、入園待ちの方が多数います。今後の入園枠の拡大対応について市の考えをお伺いします。</li> <li>同じアンケートの中で、保護者が行政に望む子育て家庭の就労環境についての結果では「事業所における子育ての理解促進の啓発」が</li> </ol>	

最も高く、就学前児童 42.7%、小学生児童 44.5%、中学 2 年生 39.6%となっています。今後事業所に対する理解促進の啓発を市としてどの様に実施していくのかお伺いします。

3. 同じアンケートの中で、今後放課後児童クラブに希望することとして費用負担の軽減が 33.9%と成っているが、どの様に軽減策を考えているのかお伺いします。
4. 国のこども大綱の中では、子育て当事者への支援に関する重要事項の中で共働き・共育ての推進、男性の家事・子育てへの主体的な参画促進・拡大とありますが、男女共同参画の視点から市としてどの様に推進していくのかお伺いします。

#### 【高齢者関係について】

5. コーちゃんバスについて、公共交通の利用者が少ない理由の一つとして路線ルートやダイヤが判り難いことや乗り継ぎの利便性の低さがあげられます。今年度 10 月の改正ではどのような改善をしたのかお伺いします。
6. 高齢者の孤立化や特殊詐欺被害から守るため、今後、例えば自宅用の防犯カメラの設置に対する補助制度を策定するなどの予定があるか伺います。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一般質問通告書

令和6年8月28日

(前) 午10時24分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和6年8月28日



湖西市議會議長 馬場 衛 様

湖西市議會議員

山本晃子



(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主題
1	香害・化学物質過敏症に対する配慮について
2	湖西市の財産である『故中根金作氏が手掛けられた庭園等』について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主　　題
1	香害・化学物質過敏症に対する配慮について
質　問　の　要　旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>近頃、香りの害に悩まされている方が増えています。いわゆる香りの害と書いて『香害』と言われています。合成洗剤や柔軟剤、整髪剤、芳香剤、香水、シャンプー、リンス、制汗剤などの日用品から発生する香りをはじめとした化学物質が原因で、頭痛、吐き気、呼吸困難、めまい、喘息発作、思考力低下、目や鼻の痛み、うつ症状やイライラ等、体調不良や健康被害が起きます。中には就労や通学がままならず、退職や休学に追い込まれるなど、日常生活に支障をきたしている方も多くいらっしゃいます。なお、香害から化学物質過敏症を発症する場合もあります。化学物質過敏症とは、普通の人では問題にならない生活環境のごく微量の化学物質に身体が過敏に反応することによって、様々な症状が現れる病気です。重症化すると、人によっては身の回りのありとあらゆるもので具合が悪くなり、一般的な社会生活が送れず、大変深刻な状況に陥ります。日常生活に支障が出てしまう症状の方は、場合によっては障害年金の対象となるほどです。</p> <p>香害の広がりと共に、化学物質過敏症の方が増えている傾向が専門家によっても指摘されています。</p> <p>化学物質過敏症支援センターのホームページには、内山巖雄京都大学大学院教授らが、成人を対象に行った調査から発症者数は、全国で約70万人と掲載されています。子どもも含めると100万人程度とのことです。</p> <p>そして、実際に明らかな体調不良があるにもかかわらず、医師に「異常なし」「気のせい」などと言われ続け、「化学物質過敏症」と診断されるまで、医療機関を何ヵ所も渡り歩いた経験を持つ方は、少なくないと言われています。このため、「医師が『異常なし』と言っているのだから」と家族からも理解してもらえない発症者が多く、発症者は症状だけでなく、孤独にも苦しめられることがあります。</p> <p>これらの事から、2021年から消費者庁が中心となり、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、環境省の5省庁連名で、「その香り困っている人もいます」と題したポスターが作成され香りに対する配慮を促す啓発を国が始めました。</p> <p>そして、2022年2月28日には、参議院予算委員会において、岸田文雄総理大臣が「必要な研究を進め、香りについて周囲への配慮の周知を図っていく」と答弁</p>	

されました。

湖西市民の方でも香害・化学物質過敏症でお困りの方が実際にいらっしゃいます。

発症のメカニズムは明確になっておらず、誰でも発症する可能性があり、決して他人事ではありません。花粉症の様にいつ何時自分や家族の身におこるかもしれないのです。

その上、香害被害者が「くさい」という言葉と一緒に体調不良を訴える事が多いためか、香害がにおいの好き嫌いの問題とも思われるがちで、香害被害者が「我慢が足りないわがままな人」と誤解を受けることがあり、私たち一人一人が正しい知識と理解を持つことが非常に重要だと考えます。

#### (質問の目的)

湖西市において現在、香害・化学物質過敏症の症状をお持ちの方が、この病気の周知、正しい理解により少しでも生活がしやすくなるよう、そして今以上に、香害・化学物質過敏症を発症する方が増えないよう質問いたします。

#### (質問事項)

1. 市民の方からの香害・化学物質過敏症の相談状況と市の認識及び啓発方法について教えてください。
2. 湖西市においては、香害・化学物質過敏症でお困りの方への様な支援等をされていますか。またはされるおつもりですか。
3. 香害・化学物質過敏症は、周囲の方の理解と知識が非常に重要です。市職員への教育はもちろんのこと、出前講座などにより市民や民間企業及び日本語が通じない方に対する直接的な周知、教育が効果的かつ重要ではないかと思うのですが、そのお考えはありますか。
4. 生徒児童の中には学校での香害が原因で不登校につながるケースが全国的にあると聞いています。湖西市での事例と、不登校の原因が香害によるものではないかという調査をした事はありますか。
5. 豊橋市では、昨年から給食エプロンの持ち回り制を廃止し、目前のエプロンを使用しています。湖西市でも同様の方式を取り入れてはいかがでしょうか。

番号	主　　題
2	湖西市の財産である『中根金作氏が手掛けられた庭園等』について

### 質問の要旨

(質問しようとする背景や経緯)

市内新居地区には、昭和の小堀遠州と称された造園家 故中根金作氏が作庭された素晴らしい庭園や公園、緑地遊歩道が数多くあります。

中根金作氏といえば、世界一といわれる島根県にある足立美術館の日本庭園や、京都府二条城の清流園、妙心寺退蔵院、大阪府大仙公園、アメリカボストン美術館の日本庭園など、国内外で数々の日本庭園を手掛けられました。この世界的な造園家、中根金作氏の貴重な庭園等が新居地区に数多く残っています。

例えば、新居の玄関口であり、手筒花火のモニュメントの噴水が印象的な新居町駅前公園。図書館や児童広場、貝殻ステージ、四季折々私たちの目を楽しませてくれる日本庭園が併設された新居文化公園。国土交通大臣表彰をされた新居新柏公園。新居消防署横にはパーキングパーク。そのすぐ近くの老人福祉センターの中庭には日本庭園が、その側には浜名川親水公園と浜名川緑道等中根氏が手掛けられた沢山の施設があります。これらは湖西市及び湖西市民の大切な財産といえるでしょう。

中根金作氏が手掛けた足立美術館には 2023 年には約 47 万人、コロナ前の 2019 年には 61 万人以上の方が訪れています。もちろん、規模が違うので比較にはなりませんが、中根氏が手掛けた庭園はそれほどまでに人々に愛され、貴重なものだという事の表れだと思います。

しかしながら、湖西市民、ましてや新居地区にお住まいの方々でさえ中根金作氏が手掛けた貴重な庭園や緑地遊歩道などがあるという事をご存知ない方が大勢いらっしゃいます。

そして、「中根庭園を研究する会」の市民有志の皆様には、お庭の手入れ等ご尽力いただいておりますが、老朽化も進んでいることから、ある程度のまとまった予算の確保も必要と考えます。

湖西市民の財産と言うべき日本庭園や緑地遊歩道等が劣化していく姿に心中穏やかでない市民も多くいらっしゃいます。

(質問の目的)

郷土愛を育む意味でも中根金作氏が手掛けられた湖西市民の財産とも言うべき庭園、緑地歩道等の事を子どもたちを含む市民へ周知し、大切に受け継いでいく事は非常に重要だと考えます。また、中根金作氏が手がけた庭園等は「第2次湖西市観光基本計画（2021年度～2025年度）の重点戦略①郷土愛を育む観光地域づくり」の計画にも合致していると思います。これらを踏まえ、市の考えを確認させていただきたく質問いたします。

(質問事項)

1. 中根金作氏の手掛けた作品が残されている事を多くの市民がご存知ない事に関して、市としてはどの様にお考えでしょうか。また、今までにどの様な方法で中根金作氏の庭園や緑地歩道等を市内外へ周知されていますか。
2. 本来老人福祉センターの庭園は、露天風呂から枯山水、池泉庭園の2つの庭園を同時に楽しむ事が出来る素晴らしい作りのはずでした。指定管理という事情もあってか、現在は露天風呂から鑑賞する事が出来ません。鑑賞できる工夫、そして老人福祉センターを市内外、年齢を問わず多くの方に利用してもらうためにも老人福祉センターに誰もが親しみの持てる愛称をつけてはいかがでしょうか。
3. 老人福祉センターの近くの浜名川親水公園に関して、藤棚の根元が盛り上がり、タイルを押し上げ、歩くのにも危険な状態です。根元を含めた藤棚の手入れ改修の予定及び、水遊びが出来る設備に関して今後の活用方針はいかがでしょうか。
4. 小学3.4年生の道徳の副読本として『わたしたちの湖西』という本が配布されていますが、中根金作氏が作られた庭園、公園等の事が一切触れられていません。市民の財産とも言えるこれらの庭園等の存在を子ども達が知る事により、郷土に誇りや郷土愛が育まれると思います。『わたしたちの湖西』というタイトルの副読本に相応しく、ぜひ掲載すべきと考えますがお考えはいかがでしょうか。
5. 中根金作氏が作られた庭園や公園は、湖西市が誇るべき観光資源であり財産です。修繕を含む恒常的な予算確保が必要と考えますが、市としてのお考えをお聞かせください。また、行政によくありがちな縦割り的管理の分散による施設機能の効果が薄くなるなど、施設の利活用の点においての課題がありますので、組

織内の連携を高めていくお考えはありますか。